



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和6年1月31日

板橋区立志村第一小学校

校長 湯本 正雄

第5回コミュニティ・スクール委員会が令和6年1月20日（土）に開催しましたので、次のとおり実施状況を報告します。

1 学校長より

- 昨年も皆様のおかげで、充実した取組を進めることができました。本年も本校の教育活動の充実に
お力添えをお願いします。
- 3学期の始業式では、能登半島地震、航空機事故で被害を受けた方が多数いましたので、新年の
「おめでとうございます」という挨拶は控えさせていただきました。子どもたちは真剣に話を聞く
様子が見られ、あらためて子ども達の素直さに感動を覚えました。

2 協議会の様子

熟議テーマ「今年度の学校評価と来年度の学校経営方針について」

副校長より今年度の学校評価について説明しました。その内容や本日の授業について、コミュニティ・スクール委員の皆様より、次のようなご意見をいただき、熟議しました。



【熟議で出たご意見】

【学級活動の日：学級会の様子】

- いじめの重大案件が無かったのはよかった。学校が早期対応・早期解決を組織的に図ることができていたからであると感じている。
- 学校では、未然防止に力を入れてきた。その成果が出ていると捉える。今後も早期対応・早期解決はもちろん、未然防止に力を入れていく。
- いじめ、不登校に対してはよく対応してくださっていると感じている。新聞などによると、いじめによる自殺の数が減っていないと聞いている。この部分を一番心配していた。いじめの質も時代によって変わってきている。大人の見えないところでのいじめがあるかもしれないので引き続きしっかりと見ていただきたい。
- 客観的なデータに基づいて、経営計画表を作成されている。児童アンケート「友達と仲良くし、協力して生活できていますか」の否定的評価が11.6%であった。友達との関わりは大切な部分である。来年度も引き続き、異学年交流等に力を入れて対応してほしい。
- 本校児童は挨拶をよくしている。
- 学童擁護員の方などが登下校時に挨拶してくださっている。その影響が多いと考える。
- 今後は、挨拶にとどまらず、簡単な会話のやりとりにもつなげていってほしい。
- 学級の心理的安全性を高めるために、名前を呼んで健康観察をする取組はいいと感じている。ぜひとも続けてほしい。
- 人と人のでつながる教育活動を展開する中で、感謝の気持ちを伝えられる児童を育成してほしい。

【来年度の学校経営方針について】

来年度の重点として、誰かのためにという思いで行動できる児童を育成したい旨、その手だてとして①探究的な学習活動を徹底して進めること、②地域の人を呼んだり、外部に発信したりしていくこと、③幼稚園との読書活動の交流などを促進することを説明しました。委員の皆様からは、来年度の学校経営方針にご賛同を得ることができました。